

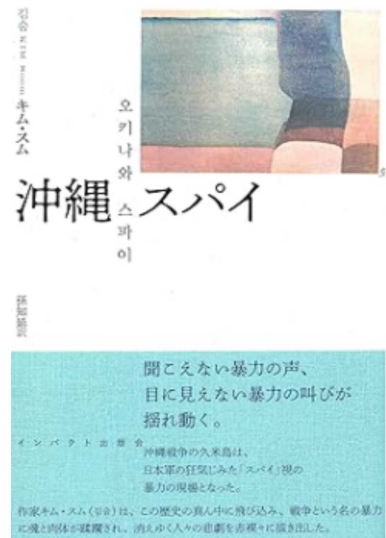
キム・スム著／孫知延訳
『沖縄 スパイ』刊行記念シンポジウム

文学に何ができるか —沖縄と韓国を結ぶ文学の可能性—

2025 年は戦後 80 年になります。また日韓国交正常化 60 周年に当たります。日本と韓国は互いに国際社会の様々な課題への対応にパートナーとして協力していくべき重要な隣国です。両国間には隣国ゆえに存在する様々な課題がありますが日韓関係の重要性は一貫して変わりません。

今年 3 月に韓国の作家キム・スムの作品が、慶熙大学教授の沖縄文学研究者孫知延によって『沖縄スパイ』と題して日本語訳が刊行されました。沖縄戦時における久米島を舞台にした作品です。過去の沖縄戦を考え、韓国と沖縄の現在と未来を考えるうえで貴重な作品の出版になりました。

そこで、「文学に何ができるか」のテーマで、「沖縄と韓国を結ぶ文学の可能性」について考えるシンポジウムを開催することに致しました。どなたでも参加できます。ふるってご参加下さい。



■開催日時：2025 年 4 月 19 日（土）14:00 開始 ～ 16:20 終了

■場 所：沖縄県教職員共済会館八汐荘ホール（那覇市松尾）

■当日のプログラム

■第 1 部 基調報告：韓国における沖縄文学の翻訳状況 14:00 ～ 14:40

報告者：孫知延（慶熙大学教授・慶熙大学グローバル琉球・沖縄研究所所長）

■第 2 部 パネルディスカッション・意見交流 14:50 ～ 16:20（90 分）

□テーマ：文学に何ができるか—沖縄と韓国を結ぶ文学の可能性

□コーディネーター：大城貞俊（作家・元琉球大学教授）

□登壇者：キム・スム（作家）、呉世宗（琉球大学教授）村上陽子（沖縄国際大学教授）野原誠喜（作家）、赤星十四三（作家）

□参加料：無料

□主 催：キム・スム著、孫知延訳『沖縄 スパイ』刊行記念シンポジウム実行委員会

□後 援：琉球新報社、沖縄タイムス社

□協 力：インパクト出版会、モヨサ（韓国出版社）、佐喜眞美術館、慶熙大学グローバル琉球・沖縄研究所所、沖縄文学研究会 L の会

□留意事項：事前申し込みは必要ありません。当日会場にて受付です。本件に関する問い合わせ先（実行委員会代表・大城貞俊）電話 098-890-4343